

## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011～2015)

##### 2020年に向けたマイルストーンとして

策定から5年目を迎えた「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011～2015)では、「Brother Earth」をスローガンに、環境配慮製品の創出、事業所の環境負荷削減、法規制と社会動向への対応、環境コミュニケーションの各分野で2015年までに達成すべき重要課題を特定して意欲的な環境目標を設定し、着実な進歩を遂げています。

特に地球温暖化に関わるCO<sub>2</sub>排出量については、「**2020年度までに国内8事業所で1990年度比30%削減(絶対値)、海外の生産拠点(USA除く)\*1で2006年度比20%削減(売上高原単位比)**」の2020年度中期目標に向けたマイルストーンと位置付けて、それぞれ目標を掲げています。

また、2015年は行動計画最終年として、目標達成に向けて様々な活動を予定しています。

##### 2020年度中期目標

- (1) 国内8事業所で、2020年度のCO<sub>2</sub>排出量を1990年度比30%削減(絶対値)
- (2) 海外生産拠点(USA除く)で、2020年度のCO<sub>2</sub>排出量を2006年度比20%削減(売上高原単位比)

2020年度中期目標を実現するため、国内8事業所は絶対値で、海外生産拠点(USA除く)は売上高原単位比で、ともに年率1%のCO<sub>2</sub>排出量削減達成のため、省エネ戦略の積極的な適用によっての業界トップレベルの施策に取り組んでいます。

特に海外生産拠点に関しては、2013年度に売上高原単位で2012年度比13.7%の削減を実現し、2020年度の目標値20%削減を7年前倒しで達成しました。この結果を踏まえて、対象範囲をグループ全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に対象範囲を拡大し、引き続き活動を行った結果、2014年度は2013年度比で10.9%削減できました。加えて、グループ外の環境負荷として定義されているスコープ3\*2にも対応を行い、2014年度では国内プロセスでの外部認証を獲得しました。

こうした行動計画の達成により、1.環境上の課題に対する継続的な取り組みで、より高いレベルでの企業の社会的責任を果たす 2.環境活動を業界トップグループへ引き上げる その結果 3.従業員が心の底から「誇りの持てる企業」となることを目指します。

また、今年度は中期行動計画の節目の年となると同時に、次期中期行動計画に向けての策定プロセスを開始しており、年度末までに終了予定です。

\*1 海外生産拠点のUSAは、施設が販売拠点の一部であることから、CO<sub>2</sub>排出量は販売拠点の実績として管理しています。

\*2 温室効果ガス排出量算定の国際基準。事業活動に関するサプライチェーン上の間接的な温室効果ガス排出量。

#### 基本方針

##### 1. 省エネを中心に環境配慮製品の創出に強力に取り組む

###### ▶【環境目標】環境配慮製品

[http://www.brother.co.jp/eco/management/action\\_plan/index.htm#target01](http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target01)

##### 2. グループを挙げてCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組む

###### ▶【環境目標】事業所の環境負荷削減

[http://www.brother.co.jp/eco/management/action\\_plan/index.htm#target02](http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target02)

##### 3. 世界の法規制に対して迅速に対応し、機会損失をなくすとともにビジネスチャンスを広げる

###### ▶【環境目標】法規制と社会動向への対応

[http://www.brother.co.jp/eco/management/action\\_plan/index.htm#target03](http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target03)

##### 4. 環境情報を開示し、ステークホルダーとの双方向コミュニケーションを充実させ、理解を高める

###### ▶【環境目標】環境コミュニケーション

[http://www.brother.co.jp/eco/management/action\\_plan/index.htm#target04](http://www.brother.co.jp/eco/management/action_plan/index.htm#target04)

## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 環境目標(2011~2015)

##### 1. 環境配慮製品

###### 1-1. 各国環境ラベルの積極的な取得と新基準への対応

- (1) ブルーエンジェル、エコマークをはじめとしてエナジースター、ノルディックスワン、EPEAT、中国十輪マークなど、販売拠点の要望に確実な対応を図る
- (2) ブルーエンジェル、エコマーク新基準(2012年以降)にも適合し、継続して取得する

###### 1-2. 製品の省エネ性向上

- (1) 該当製品はエナジースター、ブルーエンジェル、エコマーク、中国能效、日本のトップランナー基準など、各種省エネ基準にすべて適合する
- (2) 各々のカテゴリで業界トップレベルの省エネ性能を達成する

###### 1-3. エミッション(TVOC、UFP、騒音など)基準への適合

- (1) 基準に対して十分な余裕を持って適合する
- (2) ブルーエンジェル新基準、独新法(UFP)などの新基準にも適合する

###### 1-4. リサイクル材料の使用率・量の拡大

該当製品すべてで、拡大する各種基準に適合する

###### 1-5. リユース・リサイクル性の向上(本体、消耗品とも)

- (1) 消耗品再生事業での再生工数削減のための設計の推進、交換部品の削減・低コスト化を図る
- (2) クローズドマテリアル使用可能部品の拡大を図る

###### 1-6. 梱包最適化の推進による物流コスト・CO<sub>2</sub>削減

- (1) 物流コスト削減のための梱包最適化と、物流におけるCO<sub>2</sub>排出量削減を両立する
- (2) 適正材料の選定およびサイズ、重量の削減を推進する

※1 下表の各番号は、上記の項目番号に対応しています。

※2 下表の自己評価の内容です。「◎」:大幅に達成、「○」:達成、「-」:単年度で評価をしない目標と実績、「x」:未達成

環境目標※1	2014年度目標	2014年度実績	自己評価※2
1-1	(1) 該当全製品に関して環境ラベルを取得。	該当全製品で主要な各国環境ラベルを取得。	○
	(2) エコマークの新基準に適合する。	達成。	○
1-2	(1) 該当全製品に関して各国の省エネ基準に適合する。	達成。	○
	(2) 業界トップレベルの省エネ性能を達成する。	すべてのカテゴリで達成。特に家庭用ミシンでは、低ノイズと両立させ省エネ性を向上。	◎
1-3	(1) 該当全製品に関してエミッション基準に適合する。	達成。	○
	(2) ブルーエンジェル新基準(UFP)に適合する。	主要製品すべてで適合を完了。	◎
1-4	該当全製品に関してEPEAT基準に適合する。	達成。	○
1-5	(1)	インクカートリッジリサイクル率50%以上を維持。	達成。
	(2)		
1-6	(1) 前製品に対し、梱包材のサイズ・重量の削減を図り、物流におけるCO <sub>2</sub> 排出量削減につなげる。	達成。特にモノクロレーザー新製品では、梱包レイアウトを横置きから縦置きに変更して積載効率を改善。	◎
	(2)		

▶環境配慮製品創出の取り組み <http://www.brother.co.jp/eco/highlight/index.htm#product>

▶製品のライフサイクルにおける環境配慮 <http://www.brother.co.jp/eco/product/index.htm>

▶詳細データ <http://www.brother.co.jp/eco/performance/data/index.htm>

## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 環境目標(2011~2015)

##### 2. 事業所の環境負荷削減

国内事業所および海外生産拠点は「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011~2015)の順守を活動の基本とする

##### 2-1. グループ全体のCO<sub>2</sub>排出削減

物流を除き、国内事業所、海外生産拠点、海外販売拠点をグループ全体で総計し、CO<sub>2</sub>排出量を年率1%削減する(売上高原単位比)

##### 2-2. 国内8事業所のCO<sub>2</sub>排出削減

CO<sub>2</sub>排出量を年率1%削減し、2015年度のCO<sub>2</sub>総排出量を1990年度比25%減とする(絶対値)

##### 2-3. 海外生産拠点(USA除く)のCO<sub>2</sub>排出量削減

CO<sub>2</sub>排出量を年率1%削減する(売上高原単位比)

##### 2-4. 物流CO<sub>2</sub>排出量削減

排出量のマネジメント基準を定め、CO<sub>2</sub>排出量を年率1%削減する(原単位比)

##### 2-5. 生産拠点における水利用量の削減

2015年度の水利用量を2010年度比で5%削減する(売上高原単位比)

##### 2-6. 海外生産拠点における環境保全活動のグローバルマネジメント

生産拠点所在国の環境法規制の順守や廃棄物の適正処理などを、グローバルに管理する体制を構築する

##### 2-7. ISO 14001の取得

新規生産・販売拠点はISO 14001を取得する

※1 下表の各番号は上記の項目番号に対応しています。

※2 下表の自己評価の内容です。「◎」:大幅に達成、「○」:達成、「-」:単年度で評価をしない目標と実績、「×」:未達成

環境目標※1	2014年度目標	2014年度実績	自己評価※2
2-1	2013年度比1%削減。	2013年度比11.0%削減を達成。	◎
2-2	同上。	2013年度比2.3%削減を達成。 2020年度中期目標に対しては、25.2%削減を達成。	○
2-3	同上。	2013年度比6.6%削減を達成。 2020年度中期目標に対しては、31.7%削減を達成。	◎
2-4	同上。	2013年度比9.5%削減を達成。	○
2-5	単年度の目標設定は無し。	2010年度比26.4%削減を達成。	○
2-6	同上。	全生産拠点の生産活動に関わる対象法規制リストと順守状況を確認。	—
2-7	ベトナムの新工場のISO 14001取得。	製造拠点:1拠点(ブラザー マシナリー ベトナムLtd.)	○

▶グループを挙げたCO<sub>2</sub>排出量削減 <http://www.brother.co.jp/eco/highlight/index.htm#warming>

▶CO<sub>2</sub>排出削減活動 <http://www.brother.co.jp/eco/facility/index.htm>

▶詳細データ <http://www.brother.co.jp/eco/performance/data/index.htm>

▶ISO 14001 認証取得拠点一覧およびISO 14064検証受審履歴 [http://www.brother.co.jp/eco/facility/iso\\_14001/index.htm](http://www.brother.co.jp/eco/facility/iso_14001/index.htm)

## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 環境目標(2011~2015)

#### 3. 法規制と社会動向への対応

##### 3-1. グローバルな化学物質規制への対応

- (1) REACH、RoHS、TSCAなど、関連する製品含有化学物質規制法に確実に対応する
- (2) 製品含有化学物質管理の戦略を立案し、2015年度に業界トップレベルの水準に到達する

##### 3-2. グローバルな製品省エネ規制への対応

ErP、ロシア製品規制、韓国エネルギー法、中国能效、日本省エネ法など、関連する製品省エネ規制法にトップレベルの省エネ性能で対応する

##### 3-3. 拡大する製造者責任への対応

- (1) WEEE/包装材指令などに対応するための当局への提出データの精度を向上させる
- (2) 製品のクローズドリサイクルシステムをグローバルに構築する
- (3) 消耗品のリサイクルシステムをグローバルに拡大し、各統括販社への展開を目指す

##### 3-4. 製品に関する総合的な環境情報の開示

- (1) グローバルに製品の環境負荷情報を開示する
- (2) エコデクラレーション(ECMA370)に沿った製品情報を開示する

##### 3-5. 認証紙の採用

FSCなどの認証紙の採用を推進する

##### 3-6. グリーン調達推進

- (1) お取引先(サプライヤー)への監査や教育を強化し、環境に対する意識を高めて法順守を確実なものとする
- (2) 包装材原料紙の原産地、違法伐採、リサイクルなどの管理体制を構築する

## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 環境目標(2011~2015)

※1 下表の各番号は上記の項目番号に対応しています。

※2 下表の自己評価の内容です。「◎」:大幅に達成、「○」:達成、「-」:単年度で評価をしない目標と実績、「×」:未達成

環境目標※1	2014年度目標	2014年度実績	自己評価※2
3-1	(1) 製品含有化学物質規制に対応。	グリーン調達基準書をタイムリーに改訂し、順守状態を維持。	○
	(2) 各工場の管理レベルを計る指標をKPIとして設定し、活動を推進。	2014年度のKPIを達成。	○
3-2	製品省エネ規制に対応。	法規制の改訂日程をいち早くキャッチし、設計に反映。	○
3-3	(1) 提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。	提出データの精度向上に向けて、工場出荷時に製品を計量し、重量変動の確認を継続。	○
	(2) グローバルなシステムを構築。	2015年度に継続。	○
	(3) リサイクルシステムを各統括販売拠点へ展開。	同上。	○
3-4	(1) 販社に対し、新製品開示100%。	環境負荷に関わる仕様をリスト化して開示。	○
	(2) ヨーロッパ販社に対し開示100%。	ヨーロッパ向けおよびアメリカ向けのプリンター・複合機・ラベルプリンター・スキャナーについて、法的要件を含む環境特性を公開。	◎
3-5	単年度の目標設定は無し。	国内販社のカタログでFSC認証紙の使用を開始。	○
3-6	(1) グリーン調達基準書の改訂REACH-SVHC物質追加に関する事前案内の送付などの情報発信、およびお取引先監査を通じ、お取引先とグループ内のグリーン調達に対する意識の向上を図り、法順守を推進する。	グリーン調達基準書は、年2回改訂を実施。お取引先監査は、計画に従い定期的実施	○
	(2) 対象工場でのリサイクル率の把握(5工場)。EU木材規則の順守。	対象となる5つの工場で、包装材のリサイクル率把握調査を継続。対象包装材ならびに製品の合法性調査を実施し、合法性を確認。	○

▶世界の法規制への迅速な対応 <http://www.brother.co.jp/eco/highlight/index.htm#regulation>

▶製品における環境法規制対応 <http://www.brother.co.jp/eco/regulation/index.htm>

▶詳細データ <http://www.brother.co.jp/eco/performance/data/index.htm>



## 環境戦略とマネジメント

### 中期環境行動計画

#### 環境目標(2011~2015)

##### 4. 環境コミュニケーション

###### 4-1. マーケティング活動と一体となった「Brother Earth」の展開

新製品や新事業での環境配慮、ソーシャルメディアを含めたWebサイトからの環境情報の発信、プラネタリウム「Brother Earth(ブラザーアース)」のPRを通じた環境訴求などを推進する。

###### 4-2. 生物多様性保全を中心とした環境保全活動の推進

各地域で従業員参加のもと、生物多様性保全のための環境保全活動をグローバルに実施し、その一部を環境スペシャルサイトで展開されるクリック募金対象活動として掲載し、ステークホルダーの参加も促す。

###### 4-3. 従業員の環境意識向上を通じた地球温暖化防止の推進

「ブラザーエコポイント活動」をグローバルに推進するとともに、拠点別の環境貢献度の測定も進め、従業員の環境意識を向上させることで、グループ全体のCO2排出量削減目標の着実な達成を実現する。

※1 下表の各番号は上記の項目番号に対応しています。

※2 下表の自己評価の内容です。「◎」:大幅に達成、「○」:達成、「-」:単年度で評価をしない目標と実績、「x」:未達成

環境目標※1	2014年度目標	2014年度実績	自己評価※2
4-1	新製品に搭載される環境技術、従業員が参加する環境保全活動の積極的な発信。	輸送効率を高め、環境負荷を低減する「梱包ダウンサイジング」技術や家庭用ミシンに搭載の「低ノイズベルト駆動」技術、従業員参加の「内モンゴル砂漠化防止プロジェクト」や「タイ マングローブ林再生プロジェクト」を、環境スペシャルサイトや各拠点のWebサイトなどを通じて広報するとともに、FacebookやTwitter、YouTubeのブラザー公式SNSアカウントを利用し、発信範囲を継続して拡大。	○
	環境Webサイトの品質向上。	日本ブランド戦略研究所の「Eco Site Survey 2015 ランキング」で3位、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の第18回「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門で優良賞を受賞。	◎
	日本における環境イベントの積極的な推進と環境意識の拡大。	名古屋市科学館と共同で「Brother Earth エコフェス」、「ブラザー グリーンクリスマス 2014~Projection Mapping on Brother Earth~」を開催。 名古屋市の東山動植物園へ体感型学習展示施設「KOALA FOREST コアラの森」を寄贈。 国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2014」に出展。	◎
4-2	グローバル33拠点で、お客様や従業員が参加する生物多様性保全のための環境保全活動を継続して実施。	43拠点で実施。	○
4-3	「ブラザーエコポイント活動」への従業員参加率60%以上(24,600人以上)。	達成(25,908人)。	◎

▶ステークホルダーとの双方向コミュニケーション <http://www.brother.co.jp/eco/highlight/index.htm#communication>

▶環境コミュニケーション活動 <http://www.brother.co.jp/eco/communication/index.htm>

▶詳細データ <http://www.brother.co.jp/eco/performance/data/index.htm>